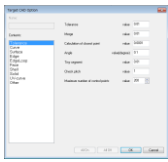
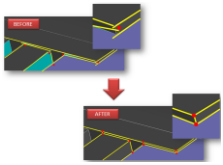
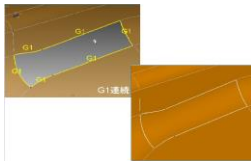
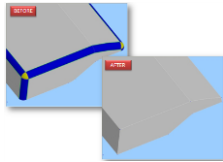
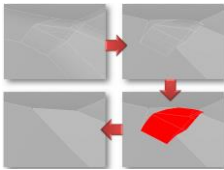
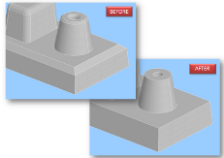
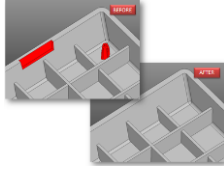
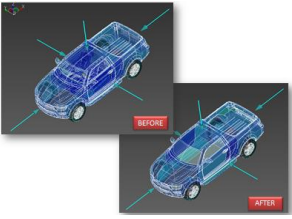
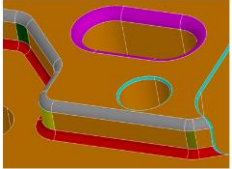
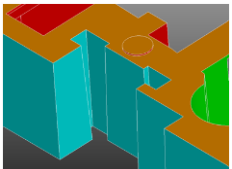

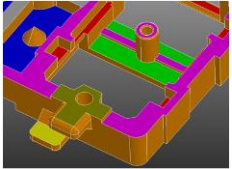
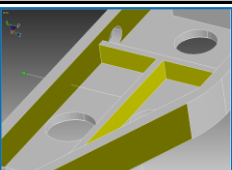
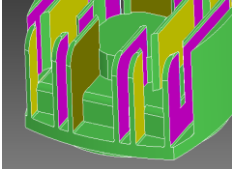
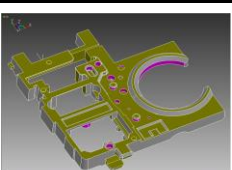


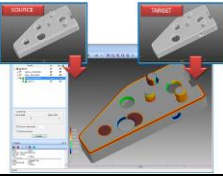
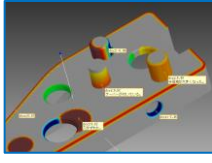
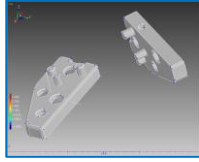
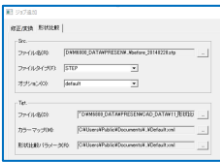
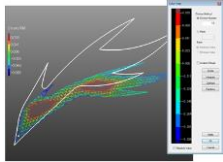
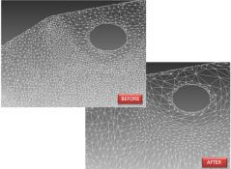
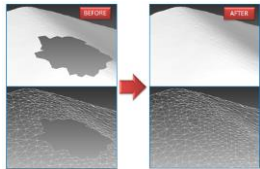
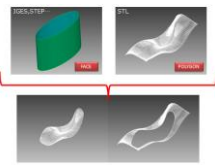
## spGate2018.1 標準機能一覧表

1	CADデータ入出力	詳細は「入出力仕様」をご確認下さい。
2	不具合チェック機能	
		<p>JAMA（日本自動車工業会）・JAPIA（日本自動車部品工業会）で制定したPDQ（Product Data Quality：モデルデータ品質）ガイドラインに沿った検証を行います。</p> <p>また、spGate独自の不具合チェック項目もあります。様々な不具合チェックパターンを構築し、使い分けをご利用頂けます。</p>
3	不具合修正機能	
	3-1：自動ヒーリング	
		軽度な不具合は自動で修正できます。
	3-2：手動ヒーリング	
	<p>重度な不具合は手動で修正します。</p> <p>修正が不可能な場合、不具合のある曲面を削除し、隣接面と接線連続の曲面を新しく作成することが可能です。</p>	
4	形状簡略化機能	
	4-1：フィレット除去	
		単純なフィレットやコーナフィレットなどは、半径値を指定して自動で除去が可能です。
	4-2：部分フィレット除去	
		自動で削除が難しい複雑なフィレット形状部は、段階的に削除することで形状簡略化が可能です。CADシステムとは異なり、作業過程で隙間や穴が生じても問題ありません。
	4-3：C面除去	
	面取りされた形状部（円錐、平面）は、角度指定することで自動で認識・除去が可能です。	
4-4：ボス・切り欠き形状除去		
	不要なボス形状や切り欠き形状は、範囲指定することで除去可能です。	

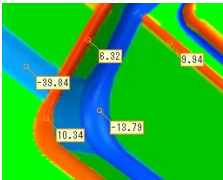
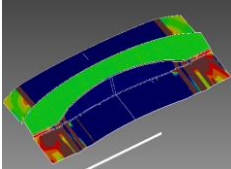
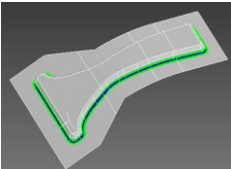
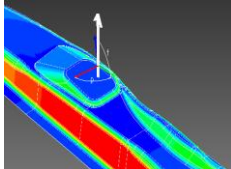
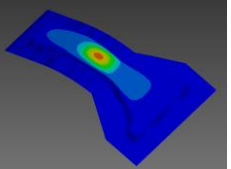
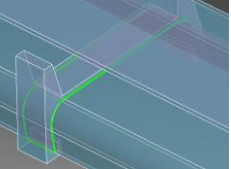
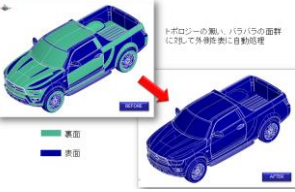
## spGate2018.1 標準機能一覧表

軽量化機能	
5-1：陰面除去	
5	 <p>任意の方向から見て隠れた（見えない）面を瞬時に削除する機能です。約1万面のデータでも数秒で陰面除去できます。CADデータの大幅な軽量化により、CG用モデルのレンダリング時間短縮や社外へ持ち出すデータの機密を確保することができます。</p>
形状認識機能	
6-1：フィレット認識	
	 <p>すべてのフィレット面を自動で色分けします。</p>
6-2：テーパ認識	
6	 <p>抜き方向を指定することで、角度別に自動で色分けします。</p>
6-3：穴認識	
	 <p>すべての穴径を計算し、自動で色分けします。</p>
6-4：平面高さ認識	
	 <p>基準となる平面を指定することで、平行なすべての面を認識し、自動で色分けします。</p>
6-5：板厚認識	
	 <p>平行な平面を板厚別に自動で色分けします。</p>
6-6：隙間認識	
	 <p>平行な平面を隙間別に自動で色分けします。</p>
6-7：幾何曲面認識	
	 <p>モデル内の幾何曲面（平面、円錐面、円柱面、球面、トーラス面、自由曲面）を自動で色分けします。</p>

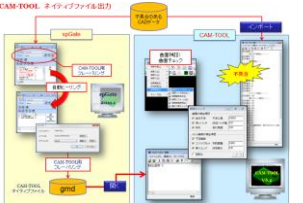
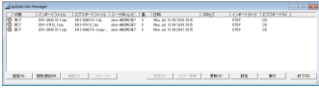

# spGate2018.1 標準機能一覧表

7	形状比較機能	
	7-1：設変チェック	
		設計変更前後のCADモデルを読み込み、形状の変更箇所（穴位置変更・ボス位置変更・フィレット半径値変更・抜きテーパ有無...）を階調表示により詳しく確認できます。
	7-2：ギャップ値メモ	
		階調表示部分をピックしてギャップ値&メモを作成できます。
8	7-3：三点位置合わせ	
		原点や座標系の異なるCADモデルに対して、各々三点指示することで位置合わせが可能です。
	7-4：バッチ処理	
		設変チェック（形状比較）機能のバッチ処理が可能です。
8	2D展開機能	
		3D曲面の外周輪郭を2D展開する機能です。 バイクのカウルに貼るデカール（グラフィック・ストライプ）デザインや3次元曲面上のロゴシール製作など、幅広い分野でご利用頂けます。伸縮箇所を抑制したり、最終的な伸縮状態を階調表示によりシミュレーションも可能です。
9	ポリゴン編集機能	
	9-1：間引き	
		指定した間引き率で、選択した部分のポリゴンを間引きします。
	9-2：穴埋め	
		単純に穴部分（開口部）を埋めるだけでなく、周辺のポリゴン曲率を参照したり、仮想曲面を内部的に作成したうえで埋めたり、さまざまな補間方法があります。
9-3：ポリゴン分割		
	ポリゴンデータ（STL）と曲面データ（IGES,STEP...）を同時に取り込み、ポリゴンデータを曲面で分割します。	

# spGate2018.1 標準機能一覧表

	<p>9-4 : 曲率表示</p> 	<p>ポリゴンの曲率半径を色分けすることで、形状の歪みを簡単に検出できます。任意位置の曲率半径をメモ表示することも可能です。</p>
10	プレス向け機能	
	10-1 : 面ひずみチェック	
		<p>方向を指定して面ひずみをチェックします。 CADモデルの曲率範囲を自動設定することも可能です。</p>
	10-2 : 凹R逃がし	
		<p>凹フィレットの削り残し対策として、2つの凹R逃がし機能を搭載しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 凹Rのオフセット</li> <li>2. 凹R半径を小さく変形</li> </ol>
10-3 : アンダーカット（負角）チェック		
	<p>指定した軸方向におけるアンダーカット（負角）チェックを行います。 アンダーカットが生じない方向を自動検出することも可能です。</p>	
10-4 : あたり補正		
	<p>シート形状の中央部をZプラス方向へ移動し、モデル全体を変形させます。 それにより、プレス金型全体のあたりを均一化させます。</p>	
	その他	
	11-1 : 干渉チェック	
		<p>複数パート間の「干渉」「接触」を高精度にチェックします。</p>
11-2 : フェース方向揃え		
	<p>ソリッドではないバラバラの面群モデルに対して、外側をおもて面に自動で設定します。</p>	

## spGate2018.1 標準機能一覧表

11	<h3>11-3 : CAM-TOOL対応</h3> 	<p>CAM-TOOL用の不具合修正を行った後に、ネイティブファイル (gmd) で出力します。</p>
	<h3>11-4 : バッチ処理</h3> 	<p>変換に時間がかかったり、変換数が多い場合には、バッチ処理がおすすめです。バッチ変換ユーティリティとしてspGate-Job-Managerが標準装備されています。 陰面除去や形状比較のバッチ処理も可能です。</p>
	<h3>11-5 : トレーニングマニュアル</h3> 	<p>わかりやすいトレーニングマニュアル（約120ページ）が付いていますので、初めての方でも簡単に操作を習得できます。</p>